

総評

標準・裁量に分かれての、はじめての道コンでした。社会・理科・英語が難しく、特に標準問題で得点が伸びませんでした。平均点付近の方にとっては、近年の入試とくらべると、5教科合計で標準問題は20～25点、裁量問題は15～20点難しくなっています。8月までの道コンとは難易度が違うので、成績を比較するには得点ではなく道コンSSを利用してください。

教科ごとの難易度は実際の入試でも変動が大きいものです。問題の難易度にふり回されることなく、「解けるはずの問題」を「確実に得点する」ことを心がけましょう。標準・裁量に分かれたことで、時間配分のイメージや、注意すべきポイントがより明確になったと思います。出題パターンに慣れ、さらに得点を伸ばしていきましょう。

国語

標準は標準的な出題で、裁量はやや易しい出題でした。

■は、問二(漢字の書き)の得点率が特に低くなりました。小学生で習う漢字をしっかりと復習しておきましょう。□の問二(1)の漢字の誤りを訂正する問題では、「集」と書いた答案が多く、標準裁量ともに得点率が著しく低くなりました。同音異義語の知識を増やしておきましょう。問三(2)では、道路を曲がる方向を逆に書いたものが散見されました。駅から見た方向で説明することに注意しましょう。◇の問四では、指定形式のミスが散見されました。かぎっこや句読点の抜けがないように注意しましょう。◇の問二は、「破れをそのままにしておく」など、内容を正しく読み取れていない答案が目立ちました。間違えた人は、口語訳と対比させながら、もう一度読んでみましょう。

数学

標準問題は標準的な難易度、裁量問題はやや難しめの出題となりました。裁量問題では、共通の②～⑤の得点が伸びなかった人が多いようです。

①、②はどれも基本問題ですが、②の問1、問3など、数に関する問題の得点率が伸びませんでした。落ち着いてもう一度考えてみましょう。③は確率の考え方の出題でした。場合分けは正しいのに、確率を間違えた人が多いようです。「手順①ではずれを選ぶ確率」がポイントです。④の関数、グラフをかく問題では、 x 座標が200、300など読み取りやすい点の座標を求めましょう。問3の(1)は2点の座標から直線の式を求める問題と同じです。⑥の問2、「 x についての方程式をつくり」という問題に、 y を用いた関数の式で答える人などが目立ちます。問題文をよく読み、求められる形を確かめよう。

社会

やや難しい出題でした。

地理分野では、①問1(1)のアジアNISEを「アジアNISE」「経済特区」と答える答案が目立ちました。語句は正確に覚えるようにしましょう。また、③問2の記述問題は、「鉄鋼業の衰退」が読み取れない答案が目立ちました。記述問題は内容を正確に説明できるように、しっかりと復習しておきましょう。

歴史分野では、④問2の年代並べかえ問題が、難しかったようです。入試でも、この問題のような年代関連の問いは頻出ですので、歴史の流れを理解しておきましょう。また、④問5の記述問題は、非常に正答率が低くなりました。特に、「出島でオランダ・中国と貿易を行った」と答える答案が目立ちました。内容をしっかりと確認しておきましょう。

理科

難～やや難の出題でした。

①は基本事項に関する出題が中心でしたが、一部の問題で得点率が低くなりました。間違えた問題や、迷った問題はしっかりと復習して、基礎固めをしておきましょう。②は問2がやや難しかったようですが、他は全体にできていました。③は応用的な問題がありましたが、極端に得点率は低くなりませんでした。④は火山・鉱物・火成岩に関する出題で、比較的良好に見られる形式の出題でした。基本的な内容も多くありましたので、間違えたところはしっかりと復習しておきましょう。⑤は実験の内容が理解できれば、問題自体はさほど難しくありません。わからなかったところがあれば、磁界と電流の関係について、向きや大きさがどのように変化するかを確認しておきましょう。

英語

全体として、標準・裁量問題とも難しい出題でした。記述形式の問いや空欄に入る1語を書く問題を中心に、全体的に得点率の低いものが目立ちました。入試の導入としてしっかりと復習しておきましょう。

標準問題では全体に得点率が低く、1%を切った問いも見られました。入試問題の形式に慣れていない人もまだ多かったでしょうか。②問3(2)のeveryは1年生で習う内容ですので、しっかり見直しましょう。裁量問題では、⑤A問2が特に難しかったようです。グラフや表を用いた出題は、ここ数年の入試でも出題されています。どの数値に着目し、どの文法で表現するかを見極めましょう。空欄に入る1語を書く問題は、難度が高くなることも多いので、記述問題同様、侮らずに対策をしてください。